

第 8 回一流塾 平成 21 年 3 月 24 日 (火)

昨年 5 月に開塾した一流塾も、早、卒塾の季節を迎えました。第 8 回兼卒塾式である今回は、前半は、津田和明氏(独立行政法人 日本芸術文化振興会 理事長、元サントリー(株)副社長)をお迎えし、『やってみなはれ! 20 世紀の偉大なるオーナー経営者・佐治敬三と共に歩んだ半世紀』と題する講義を伺いました。

氏は、ご自身のビジネスマンとしての足跡を振り返りながら、企業経営における変革の必要性や、佐治敬三氏に見る「リーダーの条件」等を説きました。強烈な個性のオーナーを補佐し、事業を発展拡大させたその経験と、豪快さ、知性、芸術の造詣も兼ね備えた人間力は、塾生に感動を与えました。

後半は、塩川正十郎氏(一流塾特別顧問、東洋大学総長、元財務大臣)をお招きし、『21 世紀の経営者へのメッセージ-20 世紀の世界と日本の教訓-』と題する講義を伺いました。

氏は、約半世紀にわたるご自身の政治生活を回顧しつつ、昨今の政治・経済情勢を総括し、政治の本来あるべき姿、21 世紀のわが国の展望等について語られました。氏ならではの、大局観に満ちたご講演内容に、塾生からは感嘆の声が上がっていました。

その後、一流塾卒塾式を行いました。ゲスト講師として参加いただいた、福川伸次氏、絹谷幸二氏、小池俊二氏、津田和明氏、村井勝氏からもご祝辞をいただき、厳粛な式を行いました。一柳塾長からも、一年間の総括として、“本物”に触れた塾での経験を活かし、人間としての基本を大事にして、未来に向け一層の飛翔を願うとのお言葉をいただきました。「過去と未来は変えられないが、自分と未来は変えられる」と締め括られました。

懇親会では、講師、塾生からのスピーチや本音話等も飛び交い、大いに盛り上がりました。

また、恒例となったその後の放談会でも、袴を脱ぎ、塾での感想や今後の抱負など、ざっくばらんに語り合い、今後の結束を誓い合いました。

